

林業の担い手育成への支援 林業大学校等との連携

近畿中国森林管理局

我が国の森林資源はスギ・ヒノキ人工林を中心に利用期を迎え、「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進める時代が到来しており、今後間伐や主伐・再造林等といった事業量が増えていくことが見込まれています。しかしながら、社会全体が少子高齢化や生産年齢人口の減少という課題に直面している中、林業従事者の数も減少し続けており、地域の林業を支える担い手の確保・育成は、全国的に喫緊の課題となっています。

こうした中、近畿中国地方では、近年若手林業技術者の教育・研修機関である林業大学校等設立の動きが広がっており、令和2年12月時点で8校が設立されています。令和元年度から開始された新たな森林経営管理制度のもと、森林環境譲与税を使った森林整備等の取組を進めるために必要な担い手育成の場として、林業大学校への期待がますます高まっています。

近畿中国森林管理局（以下、「本局」という）では、これらの林業大学校等と連携し、地域における担い手育成の取組の支援を進めており、今回はこうした取組について紹介します。

近畿中国森林管理局管内の林業大学校等



近畿中国森林管理局管内 林業大学校等協議会参加学校

ふくい林業カレッジ
みえ森林・林業アカデミー
滋賀もりづくりアカデミー
京都府立林業大学校
兵庫県立森林大学校
奈良県フォレスターアカデミー
(令和3年4月開校予定)
和歌山県農林大学校
にちなん中国山地林業アカデミー
島根県立農林大学校
広島県立庄原実業高等学校

管内概要

近畿中国森林管理局は、2府12県を管轄区域とし、国有林野31万ha、官行造林地3万ha、を管理経営しています。

管内の森林面積に占める国有林の割合は、6%と小さく木材生産量も少ないですが、都市近郊の森林が多く、景観保全等の多様な森林整備への期待が大きいことが特徴です。また、本局は大都市（大阪）に立地していることから、「森林のギャラリー」を設け、林業に係る情報発信に力を入れています。

一方、近年大規模災害にたびたび見舞われており、迅速な災害復旧とともに災害に強い森林づくりを進め、地域の安心・安全の確保に取り組んでいます。



災害復旧事業（奈良県十津川村）

基礎データ

所 在 地	大阪府北区 ^{てんまばし} 天満橋 1 丁目 8 番 75 号				
区 域 面 積	7,342,393ha	うち森林面積	5,092,786ha	国有林野面積	311,000ha
関 係 府 県	14 府県（石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）				



写真1 林業大学校等協議会での意見交換
(近畿中国森林管理局)
(令和元年6月10日)



写真2 林業大学校等の取組を展示
(近畿中国森林管理局)



写真3 林業大学校等との協定締結
(兵庫森林管理署)



写真4 分収造林地で苗木の植栽
(兵庫森林管理署)



写真5 高校生への高性能林業機械実習
(広島北部森林管理署)

学校等の名称	国有林野事業との関係
ふくい 林業カレッジ	福井署と連携・協力の協定締結(平成30年6月)。 署長が講義を実施、間伐の現地学習会を実施。
兵庫県立 森林大学校	兵庫署と連携・協力の協定締結(令和2年4月) 兵庫県と分収造林契約を締結した国有林を長期・安定的な実習場所として提供。
にちなん中国山地 林業アカデミー	日南町とサポートチーム(鳥取署、森林技術・支援センター等が構成員)と覚書を締結(平成31年3月)。 局職員が講義を実施、国有林からフィールド提供。
島根県立 農林大学校	島根署と連携・協力の協定締結(平成29年7月)。署長が講義を実施するとともに、国有林からフィールド提供。 卒業生が林野庁入庁。
庄原実業高等学校	広島北部署・広島県森連と連携・協力の協定締結(令和2年3月)。署長が講義を実施するとともに、国有林の事業地見学を実施。

林業大学校等との協定一覧

協議会の活動は始まったばかりですが、今後は林業大学校等での開催を検討するなど、より効果的な意見交換の場となるよう、活動を充実させていくとともに、当局と各林業大学校等との1対1の関係に留まらず、林業大学校間の水平連携の強化につなげることを

場となっており、協議会の活動は始まったばかりですが、今後は林業大学校等での開催を検討するなど、より効果的な意見交換の場となるよう、活動を充実させていくとともに、当局と各林業大学校等との1対1の関係に留まらず、林業大学校間の水平連携の強化につなげることを

協議会の設置



協定の締結



期待しています。

地域における林業大学校等との連携をこれまで以上に効果的かつ継続的に深めていくため、当局管内の森林管理署は、各地の林業大学校等と連携・協力協定を締結し、協定に基づいて講師派遣等の担い手の育成に関する取組を進めています。協定に基づく各署の取組の一部をご紹介します。

兵庫森林管理署では、令和2年4月に兵庫県立森林大学校および宍粟市の3者による連携協定を締結しました。

兵庫県立森林大学校から造林や保育の実習フィールドの提供についての相談を受けたことがきっかけとなり、令和2年7月には、天皇陛下の御即位に伴う慶祝行事の一環として募集していた「天皇陛下御即位記念分収造林」の契約を兵庫県と締結し、国有林野を実習フィールドとして提供することとなりました。

約2haの同分収造林地では、スギ・

ヒノキのほか、漢方等の利用で有益なキハダを植栽することとしています。また、同大学校と林木育種センター関西育種場とが共同でヒノキエリートツリーとキハダの試験地を設定し、生長量の調査を行うこととなっています。

広島北部森林管理署では、令和2年3月に庄原実業高等学校及び広島県森林組合連合会の3者による人材育成連携協定を締結し、高校生を対象とする現地実習を開催しています。同森林管理署ではこれまでも、職員による高校生への出前講座等に取り組んでまいりましたが、協定に基づき、学校側からのニーズを踏まえて関係者の連絡調整を進めた結果、令和2年10月、高性能林業機械が稼働している実際の作業現場の見学を行うなど、協定結果がより良い学習機会の提供につながっています。

当局では、今後も林業大学校等をはじめとする関係者との連携を深めながら、国有林野の実習フィールドで学んだ若手林業技術者が地域の林業を支える担い手として活躍していくよう、支援を行ってまいります。